令和５年度 福井県立大野高等学校（定時制）スクールプラン

業務改善のための取組

・校内の会議・行事の精査・簡素化・削減・DX化を進める。

・部活動休養日、ノー残業デーを導入し、適切に運用する。

人権教育の推進

・人権教育を学校教育の全体を通じて行う。

・生徒一人ひとりの人権を尊重し、他者の人格を尊重する態度を育成する。

重点目標

１ 教育課程・学習支援
教務部

①基礎学力を向上させ、自ら考える力を育てる。
②各部との連絡調整を図り、円滑な学校運営に努める。

具体的取組
a　生徒の状況に応じた個別支援を行うなど基礎学力の定着を図る。生徒の自立的な活動を充実させた授業の実践・研究に努める。
目標：
・生徒理解協議会を実施し、特性に応じた支援の在り方を共有化する。（３回／年）
・公開授業週間を実施し、授業改善を進める。（２回／年）
・観点別評価方法に関する研究と共有化
・新教育課程に関する継続的な研究
・各教科の探究的な活動の研究と推進

b 教職員間および保護者との連携を 強化し、教育効果を最大限発揮できる教育活動に努める。
目標：
・教育効果を高める年間行事の調整や作成
・保護者懇談会で生徒の共通理解を図る。（４回／年）
・生徒の学校生活の様子や行事予定を周知（４回/年）
・未履修を抑止するために欠課時数を通知（12回／年）

２ 生徒支援
生徒支援部

①基本的生活習慣の育成に努める。
②特別活動を活性化し、人格形成に努める。

具体的取組
a　問題行動の未然防止･早期発見･早期対応に努め、人格形成を図る。また、保護者の理解と協力を得ながら基本的生活習慣を身につけるように努める。
目標：
・講話や登校指導などを行い、生徒に対する声かけを実施（講話２回／年）
・家庭訪問やいじめ対策会議（12回／年）、いじめアンケート（６回／年）など全教職員体制で実施
・貴重品管理など防犯意識の向上

b 学校行事や生徒会行事の実施方法を工夫し、生徒の自主性を重視して集団活動の活性化を図る。一人一人が自分の役割を全うし、多くの成功体験を積めるように努める。
目標：
・各行事で縦割り集団の活動を通して異年齢の生徒との交流（４回／年）
・部活動の練習と参加機会の工夫

３ 進路支援
庶務進路支援部

①就労を促し、職業観・勤労観の育成に努める。
②関係機関や地元企業との連携を図り、適正な進路指導に努める。

具体的取組
a　進路・就労調査を定期的に実施し、生徒の状況を的確に掌握し、さらに個別の面談を通じて生徒のきめ細かな希望を聞く体制を定着させ、在校生への就労支援や卒業予定者の進路希望実現を図る。
目標：
・就労率向上と就労の定着のため、全生徒との面談を全教職員体制で実施（随時）

b　職場見学、専門学校見学会、就職講演会など企業・学校・ハローワークなどの外部の機関から情報提供や講演を聴くことによって進路意識の向上を図る。
目標：
・ソーシャルスキルトレーニングの充実（３回／年）
・授業や特別活動や学校生活を通して、自己肯定感を高める指導を工夫する。

４ 保健管理
保健部

①環境美化の意識を高め、健康的な生活習慣の育成を図る。
②きめ細かな支援体制の確立に努める。

具体的取組
a　日常的な清掃指導を通じて、環境美化の意識向上を図る。また、「保健だより」や講演会等により心身の健康に関する意識の高揚に努める。健康に配慮した生活様式の定着を図る。
目標：
・全教職員による毎日の清掃指導実施
・保健に関する講演会の実施（２回／年）
・健康観察の実施（毎日）

b　スクールカウンセラーや外部機関と連携し、個々の生徒に対応した教育相談体制の充実を図る。
目標：
・生徒、保護者、教職員に対するスクールカウンセラーによる面談の実施（随時）
・ケース会議や適応指導委員会の適切な運営（随時）
・個別支援シートの作成と活用

５ ＩＣＴ活用
次世代ICT活用推進委員会

①次世代ＩＣＴに対応した学習環境の整備と活用をすすめる。
②教職員の情報管理意識の向上と保護者への情報提供に努める。

具体的取組
a　タブレットを活用した探究活動の実践および研究を進める。各生徒の情報管理意識を醸成する。
目標：
・ＩＣＴ機器を活用した実践交流の機会を実施（年２回）

b　情報の管理や保護について、事例をもとに研修を行い教職員のセキュリティー意識などを高める。また、保護者に対して緊急性の高い情報を迅速に提供する。
目標：
・教職員への研修の実施、業務効率化の環境整備（研修３回／年）
・大高メールを活用し、保護者へ情報提供を実施
・ＨＰについては、行事予定等を掲載するなど内容を充実し、適宜更新する。